

多摩市アーチェリー協会危機管理マニュアル

改訂記録	
日付	内容
'15.10.3	救急及び災害対応追加

1. 目的

本マニュアルは、大会等(委託事業含む)において事故の防止対策、及び万が一の事故等が発生した場合を想定して、事前対策、発生時の応急対策、それに引き続く事後対策について規定するものとする。

1.1 根拠マニュアル

本マニュアルは「(一般財団法人)多摩市体育協会主催大会運営に係る危機管理マニュアル」等を基に作成する。

2. 対策

(1) 事前対策

- 1) 毎年総会時に多摩市アーチェリー協会会員(以後会員と呼ぶ)に対し、危機管理体制の周知徹底を図る。
- 2) 万が一事故が発生した場合を想定し、大会会場周辺の救急病院を把握しておくこと。
多摩市総合体育館の近くの救急病院は次のとおりである。

病院名	財団法人東京保健医療公社 多摩南部地域病院	学校法人 日本医科大学多摩永山病院
電 話	042-338-5111	042-371-2111
郵便番号	〒206-0036	〒206-8512
住 所	多摩市中沢2-1-2	多摩市永山1-7-1

- 3) 必要に応じて、保険の加入を行うこと。
- 4) 会場準備
器材などが風にあおられて倒れたり、飛ばされたりすること等ないように事故防止に万全を期すこと。
- 5) 下記の事項について大会責任者は事前によく調べておき、決定しておくこと。
 - ① 当日の天気予報(特に大雨や雷雲などについて)
 - ② 避難場所・誘導経路の確認(観客を含む)
 - ③ 活動中止の決定、連絡はメール及び電話による
 - ④ 熱中症予防のためのWBGT(温球黒球温度)の測定計の用意
 - ⑤ 地震や天気予報等の速報を聞くことができるラジオ等の用意

(2) 応急対策

- ① 事故等が発生した場合、会員が中心となり応急手当を実施する。さらにけがの状況を判断し、状況に応じて119番通報等を連絡する。
- ② 大会責任者は(一財)多摩市体育協会に連絡を取り、連携を取り円滑な対応が出来るようにする。
- ③ 救急対応は添付の救急対応フローチャートに従って行う。

(3) 事後対策

- ① 多摩市アーチェリー協会の担当者は事故報告書[報告書様式1](公財)東京都体育協会事故報告書、[報告書様式2](一財)多摩市体育協会事故報告書を(一財)多摩市体育協会へ速やかに報告する。
- ② 多摩市アーチェリー協会は(一財)多摩市体育協会とともに、誠意をもって事後処理にあたる。都体協もしくは多摩市体協・多摩市アーチェリー協会において、保険金請求手続きがある場合は速やかに保険会社と連絡調整する。

3. 警報発令時の対応について

- (1) 大会前日もしくは当日、あらかじめ設定した時点(当該地区限定の気象情報にて)大雨、洪水、暴風、いずれかの警報が発令されている場合、大会等は中止とする。
- (2) 大会実施中に警報が発令された場合、屋外競技については参加者を最寄りの安全な場所に避難誘導し、警報が解除されるまで安全確保に努める。屋内競技については、参加者が施設から出ないように対応し、警報が解除されるまで参加者の安全確保に努める。
- (3) 災害時対応
災害(火災、地震など)が発生した時は添付の災害時対応(火災、地震など)フローチャートに従って行動する。

4 雷への対応について

屋外種目については、事前に気象情報等を確認するなど、雷の発生に細心の注意を払い落雷事故防止に万全を期すこと。

『落雷防止対策マニュアルについて』

(1) 行動の流れ

- ① 雷の察知(雷光・雷鳴)
- ② 雷の監視(雷光+雷鳴) ☆参考 目視から聴音 10秒 3.5Km
- ③ 避難行動(参加者を安全な場所へ避難誘導)
 ☆入道雲が発達した時や頭上に厚い雲が広がったら、速やかに避難する。
 ☆入道雲、雷鳴及び雷警報器等から察知、判断し避難行動の対応をする。

《試合を「停止」「中止」》

- ④ 試合「再開」あるいは「中止」

「試合再開」

- 判断基準 ⇒ (1)雷鳴・雷光がなくなつて30分経過
 ⇒ (2)気象庁等関係機関に確認する

「試合中止」

- 判断基準 ⇒ (1)30分経過後も間断なく雷光、雷鳴が続いている場合
 ⇒ (2)「再開」が可能であつても日没などで試合続行が不能時
 ⇒ (3)グラウンド、コート等がプレー不可能な状況の時

※ **再開基準**については、日本サッカー協会では雷光・雷鳴がなくなつて20分としているが、安全を期するため**30分程度**とする。

《その他》

※ 携帯型雷警報器「ストライクアラートR. 2. 3」を落雷事故防止補助機として対応する。

文献「雷から身を守るには～安全対策Q&A～ 改訂版」(日本大気電気学会編、平成13年度発行)『落雷の予兆』に関する参考資料参照=抜粋掲載

『落雷の予兆』に関する参考資料

文献「雷から身を守るには～安全対策Q&A～改定版」以下抜粋掲載

- ・ どのような方法でも発生・接近の正確な予測は困難ですから、**早めに安全な場所(建物、自動車、バス、電車などの内部。)への避難**することです。
- ・ モクモクと発達した一群の入道雲は**落雷の危険信号**です。厚い黒雲が頭上に広がったら、雷雲がさらに近づいたと考えて下さい。雷雲が近づくときは、多くの場合は突風吹くともに気温が下がり、やがて激しい雨になります。しかし、突風や降雨より落雷が先に起こることがありますので、**早めの避難が大切です。**」
- ・ **雷鳴はかすかでも危険信号**です。雷鳴が聞こえるときは、その後の雷が自分に落ちてくる危険がありますから、すぐに安全な場所に避難して下さい。雷鳴だけで雷の発生や接近を判断するのは危険です。
- ・ もつと遠いところの雷の発生は、ラジオで中波や短波のAM放送を受信していると、ガリッガリッという雑音が入ることにより、検知できます。雑音の間隔が短くなり、激しく連続的になるときは、雷がさらに接近してくるときです。このときはラジオの雑音だけでなく、雷鳴にも注意して下さい。**雷鳴が聞こえてくれば、雷雲はすでに危険な範囲に入っています。**
- ・ 雷雲が遠ざかって雷鳴が聞こえなくなっても、**20分くらいはまだその雷雲か落雷の危険がありますから、安全な場所で待機することが必要**です。
- ・ また、一つの雷雲が去っても、次の雷雲が近づいてくる場合がありますので、**新しい雷雲の接近に常に注意**することが必要です。」
- ・ **自動車、バス、列車、鉄筋コンクリート建築の内部は安全**です。本格的な木造建築の内部も普通の落雷に対しては安全です。しかし、テントやタン屋根の仮小屋の中は、屋外と同様に雷の被害を受ける危険があります。
- ・ 絶えず雷鳴に注意し、空模様を見守ります。雷鳴が聞こえたり雷雲が近づく様子があるときは、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難します。雷鳴は、遠くかすかに聞こえる場合でも、自分に落雷する危険信号と考えて、直ちに避難して下さい。雷活動が止んでも**20分以上経過してから、屋外に出ます**。屋根のない観客席も危険ですから、安全な場所に避難します。

5 熱中症への対応について

『熱中症事故等の防止について』

- (1) 熱中症は、未然に防止できることや、児童、生徒を始めとする大会参加者の健康や生命に甚大な影響を与えることを、大会運営者が十分に認識した上で指揮に当たること。
- (2) 大会等参加者に自己の健康管理に十分留意するよう繰り返し注意喚起すること。
- (3) 高温時に大会等を実施する場合においては、試合数、内容・時間・場所等を変更するなど柔軟に対応するとともに、水分補給や休憩を励行し、適切に対策を講じること。

☆ 熱中症予防のための運動指針

WBGT(湿球黒球温度)での運動指針(「公財」日本体育協会)

※ WBGTとは、人体の熱収支に影響の大きい気温、湿度、幅射熱の3つをとり入れた指標で、乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って計算します。

熱中症予防のための運動指針

※これは湿球黒球温度との関係であり、気温との関係ではない。

WBGT (°C)	湿球温 (°C)	乾球温 (°C)	警戒レベル	説明
31	27	35	運動は原則中止	WBGT31°C 以上では、皮膚温度により気温の方が高くなり、体からの熱を逃がすことがない。特別の場合以外は運動を中止する。
28	24	31	嚴重注意	熱中症の危険が高いので、激しい運動や持久走などは避ける。体力の低いもの、暑さに慣れていないものは運動を中止。運動する場合は積極的に休息をとり、水分補給を行う。
25	21	28	警戒	熱中症の危険が増すため、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休息をとる。
21	18	24	注意	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意しながら、運動の合間に積極的に水分を補給する。
			ほぼ安全	通常は熱中症の危険が少ないが、水分の補給は必要。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意する。

※ WBGT(湿球黒球温度)の算出方法

屋外:WBGT=0.7×湿球温度+0.2×黒球温度+0.1×乾球温度。

屋内:WBGT=0.7×湿球温度+0.3×黒球温度

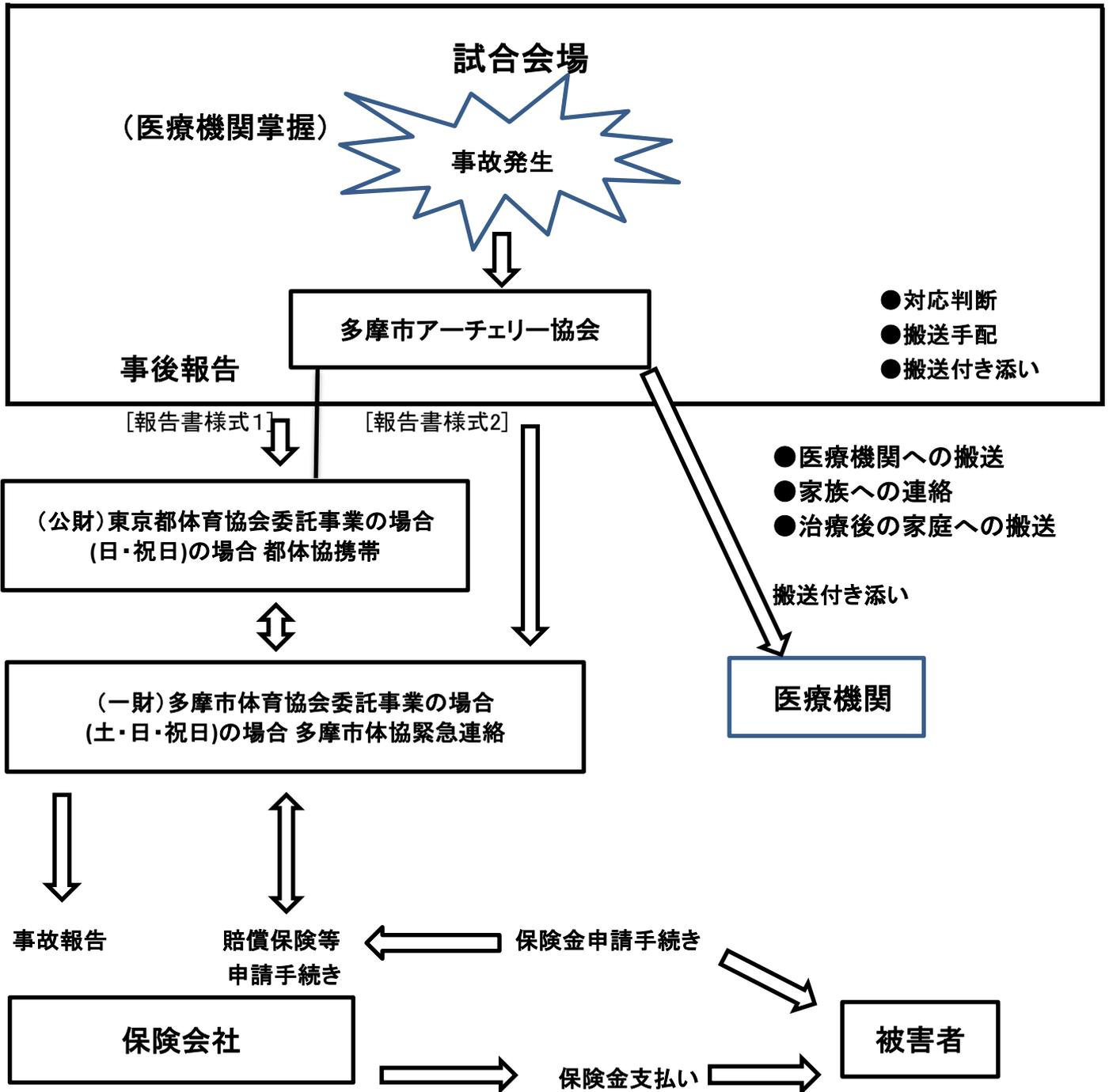
※ 環境条件の評価はWBGTが望ましい。

※ 湿球温度は気温が高いと過小評価される場合があり、湿球温度を用いる場合には乾球温度も参考にする。

※ 乾球温度を用いる場合には、湿度に注意。湿度が高ければ、1ランクきびしい環境条件への注意が必要。

※ WBGT近似値を測定して熱中症危険度を表示する。「携帯型熱中症計」等の使用を考慮すること。

救急システム関連図



6. その他

- (1) 多摩市アーチェリー協会が主催等する大会については、このマニュアルを基準として、実施するものとする。
- (2) 土・日・祝日に実施される大会の場合の連絡先は、都体協及び多摩市体協の携帯番号を聞いておくものとする。

事故報告書

(様式1)

次の通り事故がありましたので、報告いたします。 平成 年 月 日

大会名 _____ 種目 _____

報告者氏名 _____

事故発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分頃
事故の場所	_____
事故の概要 (1) 被害者	住所 _____ フリガナ _____ 氏名 _____ 性別 _____ 男・女 _____ 年齢 _____ 歳 電話番号 _____
(2) 所属	団体名 _____ 所属責任者氏名 _____ 電話番号 _____
(3) 症状	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
(4) 事故発生状況	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
処置の概要 (1) 応急処置	_____
(2) 入院先病院名	_____
	電話番号 _____
(3) 入院後の処置	_____
傷害保険の加入	有 (_____ 保険) ・無

報告先 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 3階

公益財団法人 東京都体育協会事務局

TEL 03-6804-8122

FAX 03-3465-4311

事故報告書

(様式2)

次の通り事故がありましたので、報告いたします。 平成 年 月 日

大会名 _____ 種目 _____

報告者氏名 _____

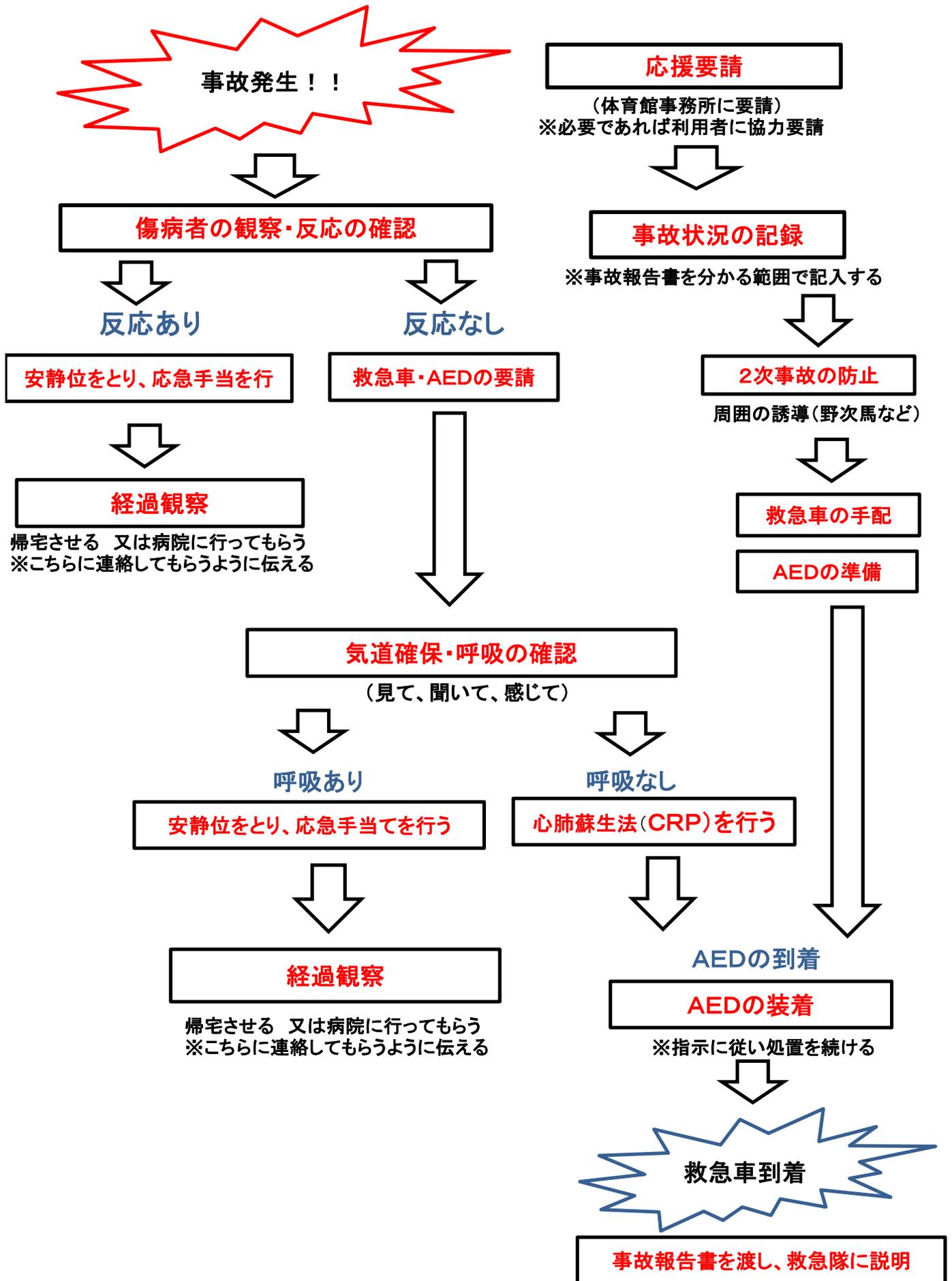
事故発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分頃
事故の場所	
事故の概要 (1) 被害者 住所	フリガナ _____ 性別 _____ 男・女 年齢 _____ 歳 電話番号 _____
(2) 所属 団体名	_____
	所属責任者氏名 _____ 電話番号 _____
(3) 症状	
	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
(4) 事故発生状況	
	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
処置の概要 (1) 応急処置	_____
(2) 入院先病院名	_____
	電話番号 _____
(3) 入院後の処置	_____
傷害保険の加入	有 (_____ 保険) ・無

報告先 〒206-0003 東京都多摩市東寺方 588-1 多摩市総合体育館内

一般財団法人 多摩市体育協会事務局

TEL&FAX 042-376-4155

救急対応フローチャート



災害時対応(火災・地震など)フローチャート

緊急事態発生！！

状況確認！！ 避難誘導開始！！

①利用者に状況説明 ※わかる範囲で説明、混乱を招かないように注意



②行射を中止し、避難してもらうよう指示

- 状況によるが、屋外退避
- 状況によるが、弓具は放置する



③避難しやすいように導線の確保。指示



④2次災害防止の為、余裕があれば、各コンセントを抜く

●体育館の事務所と連絡が取れた場合 → 事務所の指示通りに対応

●体育館の事務所と連絡が取れない場合 → 指導員が判断。対応に当たる。



事務所と連絡がつくまで、アプローチを続ける

連絡がとれ次第事務所の指示通りに対応

事故報告書

事故発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分				
事故発生場所住所	多摩市東寺方588-1				
事故発生施設の名称	多摩市総合体育館				
種 目	総合体育館個人開放事業（種目：				
被 害 者	氏 名		保護者氏名		
	住 所		電 話		
	身体障害	部 位			
		症 状			
	治療病院名				Tel
事故発生状況					
そ の 他					

事故報告書

事故発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分				
事故発生場所住所	多摩市東寺方588-1				
事故発生施設の名称	多摩市総合体育館				
種 目	総合体育館個人開放事業（種目：				
被 害 者	氏 名		保護者氏名		
	住 所		電 話		
	身体障害	部 位			
		症 状			
	治療病院名				Tel
事故発生状況					
そ の 他					

事故報告書

多摩市アーチェリー協会

事故発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分					
事故発生場所住所						
事故発生施設の名称						
被害者	氏名		保護者氏名			
	住所		電話			
	身体障害	部位				
		症状				
	治療病院名	Tel				
事故発生状況						
その他						

事故報告書

多摩市アーチェリー協会

事故発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分					
事故発生場所住所						
事故発生施設の名称						
被害者	氏名		保護者氏名			
	住所		電話			
	身体障害	部位				
		症状				
	治療病院名	Tel				
事故発生状況						
その他						